

第2次総合計画施策評価シート《令和2年度分》											
施策コード	基本目標	1	【生活環境】いつまでも住み続けたい安全・安心なまち								
1	2	2	消防・救急体制の強化								
SDGs 連携分野	目標11. 包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する										
	目標17. 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する										
											
目指すべきまちの姿	緊急時に迅速で的確な対応ができる消防・救急体制が整備されている安全・安心なまちになっています。										
●主要施策と概要【PLAN】				この1年間の成果及び反省点【DO】			担当課	評価【CHECK】			
(1) 消防団の充実 ・市民の理解と協力のもと、団員確保に取り組むとともに、訓練・研修を継続的に実施することで団員の資質向上を図り、消防団を充実させます。				新型コロナウイルス感染症のあらゆる感染対策をとりながら新入団員訓練、幹部訓練、火災活動実践訓練等を行いました。			防災課	A			
(2) 消防設備の整備充実 ・消防ポンプ自動車、消防資機材の整備や、消火栓などの消防水利の整備充実を図ります。				新型小型消防ポンプ6台を各分団に配備し、消火栓の新設も8箇所整備しました。			防災課	A			
(3) 常備消防・救急体制の充実 ・広域的連携のもと、職員の資質向上や施設・設備の充実等を進め、海部南部消防組合による常備消防・救急体制を充実させます。				消防署に配備済の移動系デジタル防災無線等で災害時に対応できるように情報共有体制を確認しました。			防災課	A			
(4) 自主防災組織の活動支援【重点施策】〈再掲〉 ・自主防災組織未結成地区に対する結成促進とともに、既結成地区における活動を支援します。				自主防災会が行う活動や防災資機材等の整備や防災に関する研修に要する経費について補助金により支援しました。			防災課	A			
(5) 救命知識の向上 ・救急現場に居合わせた市民が心肺蘇生法やAEDの操作ができるよう救命知識と技術の向上を図ります。				消防署で救命講習を普及啓発し、地域住民に心肺蘇生やAEDの操作説明を行いました。			防災課	A			
●施策目標に対する市民満足度						単位	現状値 (2017年度)	目指す方向性	中間値 (2022年度)		
消防体制（火災・救急等）の充実						%	34.2	↗			
●成果指標				単位	現状値	各年度の実績値			目標値 (目指す方向性)		
					(2017年度)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2028年度
(1) 消防団員数				人	321	322	317			340	360
(2) 消火栓の数				基	1,168	1,203	1,211			1,218	1,268
(4) 防災訓練を実施した自主防災組織の数〈再掲〉				団体	42	40	6			50	60
(5) 救命講習の受講者数				人	539	596	93			800	800
事業No	実施計画に係る事業名			担当部署	今後の進め方【ACTION】						
(1)	消防団運営事業			防災課	引き続き訓練を実施するとともに、市民の安全を守るために様々な想定訓練を実施し消防団活動を進めていきます。						現状維持
(2)	消防水利確保事業			防災課	引き続き地元要望を聞きながら消火栓新設を実施するとともに、市民の安全を確保するために最適な場所への設置を検討しながら進めていきます。						現状維持
(3)	海部南部消防組合負担金事務			防災課	対象外						対象外
(4)	自主防災組織活動支援事業（再掲）			防災課	引き続き地元要望を聞きながら、地域に適した防災資機材の提案や防災訓練の内容調整を検討しながら進めていきます。						現状維持
(5-1)	救命講習普及啓発事業			防災課	引き続き市民の救命知識と技術の向上を図るため、海部南部消防組合と連携しながら市民への普及啓発を進めていきます。						現状維持
(5-2)	コンビニエンスストアAED設置事業			防災課	引き続き新規店があればAED設置を実施するとともに、市民の安全を守るために市民への周知を進めていきます。						現状維持
施策の今後の方針【ACTION】				災害発生時に共助として、消防団や自主防災会の活動が非常に重要となることから、団員の確保、自主防災会の設置及び資機材の整備を図ります。整備した資材の取扱い方法や作動確認を含む防災訓練を実施し、減災に努めていきます。							

第2次総合計画実施計画事業評価シート《令和2年度分》

事業No	実施計画に係る事業名	課	グループ	作成日
(1)	消防団運営事業	防災課	消防グループ	令和3年6月24日

■総合計画の位置づけ

基本計画	基本目標	1	【生活環境】いつまでも住み続けたい安全・安心なまち	重点施策
	施策目標	2	消防・救急体制の強化	
	主要施策	1	消防団の充実	
	主要事業		消防団運営事業	
SDGs 連携分野	目標11. 包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する			
				

■事業内容【PLAN】

事業目的	消防団員の能力や技術向上のため、新入団員訓練や研修を行い消防団全体の経験値を上げることを目的とします。					主な協働・ 関連団体等	
事業概要	新入団員訓練、幹部訓練や実践訓練などの訓練を行います。					関連する 個別計画・ 根拠法令等	
事業の開始・ 終了	開始年度	2019	年度	終了年度	2028	年度	

■事業費(単位:千円)【DO】

事業内訳	2020年度(実績)		2020年度(計画)		2021年度(計画)		2022年度(計画)	
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)
	訓練及び警戒 費用弁償	4,160	訓練及び警戒 費用弁償	17,916	訓練及び警戒 費用弁償	17,916	訓練及び警戒 費用弁償	10,416
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	合計	4,160	合計	17,916	合計	17,916	合計	10,416
	(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0

成果指標	単位	現状値	各年度の実績値					目標値(目指す方向性)	
		(2017年度)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2028年度	
(1) 消防団員数	人	321	322	317			340	360	
(2) 消火栓の数	基	1,168	1,203	1,211			1,218	1,268	

指標の分析 市民の職種や勤務時間などが多様化しており、団員資格基準となる市内在住者が減少しているため団員数が減じた。

■事業の評価【CHECK】

項目	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 住民のために効果的なものであり、求められているか 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要であるか 	火災発生時における消火活動、大規模災害時における救助・救出活動、警戒巡視、避難誘導等や平常時においても、訓練、広報活動など地域における重要な役割をになっております。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 前年に比べてどのように工夫したのか コストの削減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 	いろいろな消火訓練や消防器具等の整備点検を行い、火災に対応できるように準備しております。
妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市・住民・団体が誰が実施するのが良いか 	市の消防機関のひとつです。
施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 	消火活動のみならず、地域コミュニティの維持振興においても市民の安全安心を守るための活動であり地域における消防力・防災力の向上に繋がります。

■今後の進め方【ACTION】

課長意見	方向性
引き続き訓練を実施するとともに、市民の安全を守るために様々な想定での訓練を実施し消防団活動を進めていきます。	現状維持

第2次総合計画実施計画事業評価シート《令和2年度分》

事業No	実施計画に係る事業名	課	グループ	作成日
(2)	消防水利確保事業	防災課	消防グループ	令和3年6月24日

■総合計画の位置づけ

基本計画	基本目標	1	【生活環境】いつまでも住み続けたい安全・安心なまち	重点施策
	施策目標	2	消防・救急体制の強化	
	主要施策	2	消防設備の整備充実	
	主要事業		消防水利確保事業	
SDGs 連携分野	目標11. 包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する			
				

■事業内容【PLAN】

事業目的	消防水利（消火栓、防火水槽等）の不足している地域に対し計画的に消火栓を整備していき市内全域の水利充実を図ります。					主な協働・ 関連団体等	
事業概要	消防水利が不足している地域に対し、消火栓を整備します。						関連する 個別計画・ 根拠法令等
事業の開始・ 終了	開始年度	2019	年度	終了年度	2028	年度	

■事業費(単位:千円)【DO】

事業内訳	2020年度(実績)		2020年度(計画)		2021年度(計画)		2022年度(計画)	
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)
	消火栓新設工事	6,107	消火栓新設工事費	6,100	消火栓新設工事費	6,100	消火栓新設工事費	6,100
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	合計	6,107	合計	6,100	合計	6,100	合計	6,100
	(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0

成果指標	単位	現状値	各年度の実績値					目標値(目指す方向性)	
		(2017年度)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2028年度	
(2) 消火栓の数	基	1,168	1,203	1,211				1,218	1,268

指標の分析 消火栓数が安定して増加しており市内全域整備に向けて進んでいます。

■事業の評価【CHECK】

項目	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 住民のために効果的なものであり、求められているか 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要であるか 	有事の際の水利として市内全域に消火栓の確保が必要です。各区長・区長補助員及び海部南部消防署からの設置要望等に基づき適切な場所であれば設置の必要性を判断しています。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 前年に比べてどのように工夫したのか コストの削減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 	アスファルト舗装が二重となっている県道に新設を避け、県道付近の市道に新設することでアスファルト一重分をコスト削減できます。
妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市・住民・団体が誰が実施するのが良いか 	基本的には市が計画的に整備しますが、調整区域において急遽、農地転用等から民間施設建設により消火栓が必要な場合は承認工事により設置してもらう場合があります。
施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 	市内全域に消火栓を設置することは、総合計画における消防水利確保事業の推進を図るために必要な事業です。

■今後の進め方【ACTION】

課長意見	方向性
引き続き地元要望を聞きながら消火栓新設を実施するとともに、市民の安全を確保するために最適な場所への設置を検討しながら進めていきます。	現状維持

第2次総合計画実施計画事業評価シート《令和2年度分》

事業No	実施計画に係る事業名	課	グループ	作成日
(3)	海部南部消防組合負担金事務	防災課	消防グループ	令和3年6月24日

■総合計画の位置づけ

基本計画	基本目標	1	【生活環境】いつまでも住み続けたい安全・安心なまち	重点施策
	施策目標	2	消防・救急体制の強化	
	主要施策	3	常備消防・救急体制の充実	
	主要事業		海部南部消防組合負担金事務	
SDGs 連携分野	目標11. 包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する			
	目標17. 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する			
 				

■事業内容【PLAN】

事業目的	広域的連携のもと、海部南部2市村（弥富市・飛島村）で組織する海部南部消防組合により、常備消防・救急体制の充実を図ります。					主な協働・関連団体等	海部南部消防組合
							飛島村
事業概要	海部南部消防組合により、職員の資質向上や施設・設備の充実等を進め、常備消防や救急体制に関する事務を行います。					関連する個別計画・根拠法令等	
事業の開始・終了	開始年度	2019	年度	終了年度	2028	年度	

■事業費(単位:千円)【DO】

事業内訳	2020年度(実績)		2020年度(計画)		2021年度(計画)		2022年度(計画)	
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)
	海部南部消防組合負担金	603,181	海部南部消防組合負担金	603,181	海部南部消防組合負担金	603,181	海部南部消防組合負担金	603,181
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	合計	603,181	合計	603,181	合計	603,181	合計	603,181
	(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0

成果指標	単位	現状値	各年度の実績値					目標値(目指す方向性)	
		(2017年度)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2028年度	

指標の分析	
-------	--

■事業の評価【CHECK】

項目	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 住民のために効果的なものであり、求められているか 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要であるか 	評価対象外
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 前年に比べてどのように工夫したのか コストの削減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 	評価対象外
妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市・住民・団体で誰が実施するのが良いか 	評価対象外
施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 	評価対象外

■今後の進め方【ACTION】

課長意見	方向性
対象外	対象外

第2次総合計画実施計画事業評価シート《令和2年度分》

事業No	実施計画に係る事業名	課	グループ	作成日
(4)	自主防災組織活動支援事業（再掲）	防災課	消防グループ	令和3年6月24日

■総合計画の位置づけ

基本計画	基本目標	1	【生活環境】いつまでも住み続けたい安全・安心なまち	重点施策 ○
	施策目標	2	消防・救急体制の強化	
	主要施策	4	自主防災組織の活動支援	
	主要事業		自主防災組織活動支援事業（再掲）	
SDGs 連携分野	目標11. 包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する			
	目標17. 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する			
	 			

■事業内容【PLAN】

事業目的	自主防災組織の既結成地区における活動や防災資機材の整備、防災に関する研修に要する経費に補助金で支援します。					主な協働・ 関連団体等		
事業概要	自主防災組織の活動を推進するため、その活動に対する経費について、補助を行います。						関連する 個別計画・ 根拠法令等	自主防災組織補助金交付要綱
事業の開始・ 終了	開始年度		年度	終了年度		年度		

■事業費(単位:千円)【DO】

事業内訳	2020年度(実績)		2020年度(計画)		2021年度(計画)		2022年度(計画)	
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)
	自主防災組織補助金 (補助額)	3,442	自主防災組織補助金 (補助額)	5,905	自主防災組織補助金 (補助額)	5,905	自主防災組織補助金 (補助額)	5,905
(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)		
(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)		
(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)		
(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)		
合 計 (補助額)	3,442 0	合 計 (補助額)	5,905 0	合 計 (補助額)	5,905 0	合 計 (補助額)	5,905 0	

成果指標	単位	現状値	各年度の実績値					目標値(目指す方向性)	
		(2017年度)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2028年度	
(4) 防災訓練を実施した自主防災組織の数<再掲>	団体	42	40	6				50	60

指標の分析 新型コロナウイルス感染症の影響により訓練回数は減少しましたが、できる限りの感染対策をとりながら訓練を実施しております。

■事業の評価【CHECK】

項目	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 住民のために効果的なものであり、求められているか 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要であるか 	自主防災組織の活動や防災資機材等の整備及び訓練を支援します。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 前年に比べてどのように工夫したのか コストの削減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 	防災訓練を自主防災会で行うことで地域として防災力が向上しております。
妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市・住民・団体が誰が実施するのが良いか 	市が実施していることで、市内全体の防災力が向上しております。
施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 	自主防災組織の活動や防災資機材等の整備及び訓練が充実して行われることにより市民の安全安心に繋がります。

■今後の進め方【ACTION】

課長意見	方向性
引き続き地元要望を聞きながら、地域に適した防災資機材の提案や防災訓練の内容調整を検討しながら進めていきます。	現状維持

第2次総合計画実施計画事業評価シート《令和2年度分》

事業No	実施計画に係る事業名	課	グループ	作成日
(5-1)	救命講習普及啓発事業	防災課	消防グループ	令和3年6月24日

■総合計画の位置づけ

基本計画	基本目標	1	【生活環境】いつまでも住み続けたい安全・安心なまち	重点施策
	施策目標	2	消防・救急体制の強化	
	主要施策	5	救命知識の向上	
	主要事業		救命講習普及啓発事業	
SDGs 連携分野	目標11. 包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する			
				

■事業内容【PLAN】

事業目的	救急隊が現場に到着するまでの間、その場に居合わせた市民に負傷者等への応急手当が適切に実施されるように市民に対し、心肺蘇生等の応急手当講習を行い、救命率を向上させることを目的とします。					主な協働・ 関連団体等	海部南部消防署
事業概要	在住・在勤者を対象に心肺蘇生法（成人）・AEDの使用 方法・止血法の講習を受講してもらうためのPRを行 います。					関連する 個別計画・ 根拠法令等	
事業の開始・ 終了	開始年度	2019	年度	終了年度	2028	年度	

■事業費(単位:千円)【DO】

事業内訳	2020年度(実績)		2020年度(計画)		2021年度(計画)		2022年度(計画)	
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)
		0		0		0		0
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	合計	0	合計	0	合計	0	合計	0
	(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0

成果指標	単位	現状値	各年度の実績値					目標値(目指す方向性)	
		(2017年度)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2028年度	
(5) 救命講習の受講者数	人	539	596	93			800	800	

指標の分析 新型コロナウイルス感染症の影響により受講人数は減少しましたが、感染対策をとりながら事業を実施しました。

■事業の評価【CHECK】

項目	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 住民のために効果的なものであり、求められているか 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要であるか 	救急現場に居合わせた市民が心配蘇生法やAEDの操作ができるよう救命知識と技術の習得を図ります。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 前年に比べてどのように工夫したのか コストの削減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 	新型コロナウイルス感染症の影響により受講人数は減少しましたが、いっどこで救急現場に居合わせても対応できるように感染対策をとりながら事業を実施しました。
妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市・住民・団体が誰が実施するのが良いか 	消防署が継続的に普及啓発することが良いです。
施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 	心肺蘇生の講習を市民が受講することで、救急隊以外にも救急現場で対応できる市民が増加することで市民の安全安心に繋がります。

■今後の進め方【ACTION】

課長意見	方向性
引き続き市民の救命知識と技術の向上を図るため、海部南部消防組合と連携しながら市民への普及啓発を進めていきます。	現状維持

第2次総合計画実施計画事業評価シート《令和2年度分》

事業No	実施計画に係る事業名	課	グループ	作成日
(5-2)	コンビニエンスストアAED設置事業	防災課	消防グループ	令和3年6月24日

■総合計画の位置づけ

基本計画	基本目標	1	【生活環境】いつまでも住み続けたい安全・安心なまち	重点施策
	施策目標	2	消防・救急体制の強化	
	主要施策	5	救命知識の向上	
	主要事業		コンビニエンスストアAED設置事業	
SDGs 連携分野	目標11. 包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する			
				

■事業内容【PLAN】

事業目的	24時間だれでもAED（自動体外式除細動器）を利用できるようにする為に市内にある全てのコンビニエンスストアに配備します。					主な協働・ 関連団体等	
事業概要	市内にあるコンビニエンスストア全店舗にAEDを整備し、24時間365日対応できるようにします。					関連する 個別計画・ 根拠法令等	
事業の開始・ 終了	開始年度	2019	年度	終了年度	2028	年度	

■事業費(単位:千円)【DO】

事業内訳	2020年度(実績)		2020年度(計画)		2021年度(計画)		2022年度(計画)	
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)
	自動体外式除細動器借上料 (補助額)	1,461	自動体外式除細動器借上料 (補助額)	1,723	自動体外式除細動器借上料 (補助額)	1,400	自動体外式除細動器借上料 (補助額)	1,400
(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)		
(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)		
(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)		
(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)		
合計 (補助額)	1,461 0	合計 (補助額)	1,723 0	合計 (補助額)	1,400 0	合計 (補助額)	1,400 0	

成果指標	単位	現状値	各年度の実績値					目標値(目指す方向性)	
		(2017年度)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2028年度	

指標の分析

■事業の評価【CHECK】

項目	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 住民のために効果的なものであり、求められているか 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要であるか 	心臓突然死は、いつでも誰にでも起こる可能性があり、救急車が到着する前に、1秒でも早く電気ショックを実施することが重要なので、いつでも誰でも利用できるような市内コンビニに配備が必要です。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 前年に比べてどのように工夫したのか コストの削減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 	配備するAEDを最新機種に限定したことで、耐用年数が5年から8年に延び、大幅なコストの削減となった。
妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市・住民・団体が誰が実施するのが良いか 	市内全てのコンビニに継続して配備する必要があるため、市が実施することが良いです。
施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 	市内コンビニにAEDを設置することは、救急救命体制の強化につながっています。

■今後の進め方【ACTION】

課長意見	方向性
引き続き新規店があればAED設置を実施するとともに、市民の安全を守るために市民への周知を進めていきます。	現状維持